

(仮称) 水橋地区義務教育学校整備事業

審査講評

令和5年3月

(仮称) 水橋地区義務教育学校整備事業
P F I 事業者選定委員会

令和4年10月7日に「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」(平成11年法律第117号。)に基づき公募した「(仮称)水橋地区義務教育学校整備事業」(以下「本事業」という。)を実施する民間事業者(以下「事業者」という。)の選定に関する審査講評をここに公表する。

令和5年3月31日

(仮称)水橋地区義務教育学校整備事業PFI事業者選定委員会

委員長	中村 和之
委員	川崎 寧史
委員	讃岐 亮
委員	今本 雅祥
委員	宮口 克志

(仮称) 水橋地区義務教育学校整備事業 審査講評

目 次

1. 事業者選定の方法	1
2. 事業者選定の体制	1
3. 審査結果	1
3.1 入札参加資格審査	1
3.2 提案審査	1
(1) 入札書類及び提案書類の確認	1
(2) 基礎項目審査	2
(3) 審査事項に係る評価	2
(4) 入札価格に係る評価	3
(5) 総合評価	4
4. 総評	5
添付資料 個別講評	7

1. 事業者選定の方法

本事業の事業者選定方式は、総合評価落札方式による一般競争入札により行い、事業者の選定は、入札参加資格審査及び提案審査により行った。

入札参加資格審査では、入札参加者の資格要件等について、富山市（以下「市」という。）が審査を行った。

提案審査では、各業務に関する具体的な提案内容の審査等について、入札価格を伏せた状態で実施し、審査事項評価点を算出した後で、市において入札価格から算出した入札価格評価点と合わせた総合評価点により最優秀提案の選定を行った。

なお、提案審査にあたり、入札参加者名（グループ名、代表企業名、構成企業名及び協力企業名）を一切伏せて行うものとし、本事業に参加表明のあった3者をTグループ、Yグループ及びLグループとして審査を行った。

2. 事業者選定の体制

提案審査のうち、審査事項に係る評価を行うにあたり、市が設置した学識経験者等で構成する「(仮称)水橋地区義務教育学校整備事業 PFI 事業者選定委員会」（以下「選定委員会」という。）にて、入札参加者から提出された提案書類の審査等を行い、最優秀提案を選定した。

選定委員会の構成は、以下のとおりである。

委員長	中村 和之	富山大学 副学長（経済学部 教授）
委員	川崎 寧史	金沢工業大学 建築学部 建築学科 教授
委員	讃岐 亮	東京都立大学 都市環境学部 建築学科 助教
委員	今本 雅祥	富山市 副市長
委員	宮口 克志	富山市 教育長

(敬称略)

3. 審査結果

3.1 入札参加資格審査

参加表明書及び入札参加資格審査に関する提出書類に基づき、入札参加者が、入札説明書に示す参加資格の要件を満たしているかについて、市において審査した。

この結果、全ての入札参加者について、参加資格の要件を満たしていることが確認された。

3.2 提案審査

(1) 入札書類及び提案書類の確認

入札参加者が提出した入札書類及び提案書類が全て入札説明書等の指定どおりに揃っているかについて、市において確認した。

この結果、全ての入札参加者について、必要書類が揃っていることが確認された。

(2) 基礎項目審査

入札参加者の提案内容が、落札者決定基準「別紙1 基礎審査項目の評価基準」に掲げる基礎審査項目を充足しているかについて、市において審査した。

この結果、全ての入札参加者について、基礎審査項目を充足していることが確認された。

(3) 審査事項に係る評価

1) 審査方法

基礎項目審査において適格とされた入札参加者の提案内容について、選定委員会において審査事項に係る評価を行った。

審査事項に係る評価については、落札者決定基準「別紙2 審査事項及び評価視点【一覧】」に基づき、以下に示す審査事項について加点基準に応じて得点（加点）を付与した。

【審査事項】

審査事項	配点	備考
I. 事業計画全般に関する事項	70	配点の割合：最高700点中10.0%
II. 設計業務に関する事項	350	配点の割合：最高700点中50.0%
III. 建設・工事監理・解体撤去・杭撤去業務に関する事項	100	配点の割合：最高700点中14.3%
IV. 什器備品調達・引越業務に関する事項	20	配点の割合：最高700点中2.9%
V. 維持管理業務に関する事項	100	配点の割合：最高700点中14.3%
VI. 事業全体に関する事項 (事業者独自の提案)	60	配点の割合：最高700点中8.5%
合計	700	

【加点基準】

評価	評価水準	加点比率 (評価点=配点×加点比率)
A	各審査項目について特に優れている。	100%
B	各審査項目についてより優れている。	75%
C	各審査項目について優れている。	50%
D	各審査項目について優れている点はあまりない。	25%
E	各審査項目について優れている点はない。	0%

2) 審査事項に係る評価（審査事項評価点）の算出結果

前項の審査方法に基づく審査事項評価点の算出結果を以下に示す。

審査事項	配点	Tグループ	Yグループ	Lグループ
I. 事業計画全般に関する事項	70	45.8	44.5	43.5
II. 設計業務に関する事項	350	237.5	233.0	230.5
III. 建設・工事監理・解体撤去・杭撤去業務に関する事項	100	68.0	67.5	59.5
IV. 什器備品調達・引越業務に関する事項	20	12.0	13.0	12.0
V. 維持管理業務に関する事項	100	61.8	68.8	57.0
VI. 事業全体に関する事項 (事業者独自提案)	60	37.0	41.0	36.0
合 計	700	462.1	467.8	438.5

※落札者決定基準に基づき、審査事項毎に小数第2位以下を四捨五入した。

(4) 入札価格に係る評価

1) 入札価格の確認

入札参加者が入札書に記載した入札価格が予定価格（10,758,600,000円（消費税及び地方消費税を含まない））を超えていないかについて、市において確認した。

この結果、全ての入札参加者について、入札価格が予定価格を超えていないことが確認された。

2) 入札価格に係る評価（入札価格評価点）の算出結果

入札価格に係る評価については、入札書に記載された入札価格に基づき、市において次式により算出し、入札価格評価点（最高300点）を付与した。

$$\text{入札価格評価点} = \frac{\text{提案のうち最も低い入札価格}}{\text{当該入札参加者の提示する入札価格}} \times 300 \text{ 点}$$

【入札参加者の入札価格評価点】

	Tグループ	Yグループ	Lグループ
入札価格	10,498,403,319円	10,602,641,188円	8,906,458,206円
入札価格評価点	254.5	252.0	300.0

※入札価格は消費税及び地方消費税を含まない。

※入札価格評価点は落札者決定基準に基づき、小数第2位以下を四捨五入した。

(5) 総合評価

選定委員会において審査事項評価点を決定した後、市において入札価格から算出した入札価格評価点を合計した総合評価点により、入札参加者を順位付けした。

結果は、以下のとおりであり、選定委員会は、入札参加者のうち総合評価点が1位となったLグループを最優秀提案として選定した。

総合評価点（最高 1000 点）＝審査事項評価点（最高 700 点）＋入札価格評価点（最高 300 点）
--

【入札参加者の総合評価点】

項目	配点	Tグループ	Yグループ	Lグループ
審査事項評価点	700	462.1	467.8	438.5
入札価格評価点	300	254.5	252.0	300.0
総合評価点	1000	716.6	719.8	738.5
順位		3位	2位	1位

4. 総評

本事業には3者の入札参加者から提案があった。各々の提案は、これまでの学校建設やPFI・PPP事業実績に基づく、民間事業者ならではのノウハウや創意工夫が随所に盛り込まれており、いずれも一定の水準を上回る内容であった。

今回、最優秀提案として選定したLグループの総評を述べる。

事業計画については、PFI事業の代表企業としての実績はないものの、構成企業として参画した豊富な実績をもとに、資本金・内部留保金ともに十分に確保されており、複層的かつ具体的なセルフモニタリングによる事業継続の提案が評価できる。

施設計画については、「水橋の未来をつくる学びの杜」とした設計コンセプトを掲げ、建設コストが上昇する中、汎用品を上手に活用して、建設費の低減や維持管理コストの縮減につなげていた点が、高く評価できる。配置計画については、東西にまっすぐに延びる廊下に管理諸室、特別教室、地域開放を含む体育関連諸室の各ゾーンを、また、これに並行して東西に延びる棟として普通教室ゾーンを配置し、それらを3か所の廊下で結ぶ施設提案であり、見通しが良く、人の動きが感じられるシンプルな計画が評価できる。

また、これらの中心に異学年交流の拠点として位置付けた図書室、メディアセンター及び階段教室や職員室等の主要機能が3層にわたる立体的な配置がなされていることで、どの学年からも利用しやすい計画となっていること、また、将来的な用途変更の際にも機能低下することなく利用でき、段階的な部活動地域移行に対応できるなど、時間経過を意識した具体的な提案であることが高く評価できる。

その他、災害時における避難所として施設を総合的に運営する提案や地域特性を生かした施設計画、セキュリティや学校管理に配慮したまっすぐな動線計画、防災安全計画における複数の避難ルート設定等の提案が高く評価できる。

建設・工事監理・解体撤去・杭撤去については、工期を短縮するスケジュール計画、近隣対応窓口の一元化や地元町内会から関心表明を取得するなど、近隣等への配慮について評価できる。

什器備品調達・設置については、教科の特性にあわせた什器備品の提案、また、引越については、学校における通常業務への支障を軽減する具体的な提案について、評価できる。

維持管理業務については、外構維持管理指標の導入等の独自性の高い提案、長期修繕計画及び経常修繕の具体的な提案が評価できる。

入札者独自の提案については、生徒や地域の参画等を通じた地域社会への貢献、地元企業のみが参画することによる地域経済への貢献が評価できる。

また、上記の内容について事業実施の確実性や意欲的な事業推進体制、より良い事業実現に向けた市との協議実施の意向や柔軟性について、プレゼンテーションの場において確認できたことも高く評価できる。

入札価格に係る評価においては、特に高い評価を得ており、上記の審査事項に係る評価と併せて総合的に高く評価できる。

なお、3グループの加点審査項目ごとの講評については、個別講評として、添付資料にまとめた。

選定されたLグループにおかれてはそのノウハウを最大限に活かして、提案内容を確実に実現するとともに、市におかれては業務水準の維持・向上のための継続的なモニタリングを実施されたい。さらに、市と事業者間で良好なパートナーシップを構築し、この学校に通う児童生徒や地域住民等に末永く愛される学校を実現していただきたい。

また、提案時点で具体的な検討がなされていなかった部分も見られたことから、それらの点に係る詳細な検討・検証を行うとともに、特に以下の事項についての対応・工夫・配慮等について、選定委員会として要望する。

- ・ 諸室配置、フロア構成については、前期・中期・後期のブロック分けやインクルーシブデザインの観点で、学校との協議を十分行ったうえで現状の提案内容を精査・見直し等の対応をとっていただきたい。
- ・ 事業の安定的な継続及び確実な遂行の観点から、代表企業のみならず、参画企業各社がBCPを策定するよう配慮していただきたい。
- ・ 富山市における先導的な義務教育学校として、高いサービス水準による事業実施を期待するところである。
- ・ 提案された内容により想定された教育的効果については、開校後においても、市と協働して検証していただきたい。

添付資料 個別講評

I 事業計画全般に関する事項

審査事項	Tグループ	Yグループ	Lグループ
(1) 本事業への基本的な考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本事業の目的・基本理念を理解し、3つの実施方針を掲げている点が、評価できる。 ・ 歴史風土を理解し、学びの場と地域のコミュニティ拠点づくりや住民行政民間が一体となった学校づくりについて評価できる。 ・ 重層型のモニタリング体制について、評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4つの架け橋のコンセプトなど、本事業の目的・基本理念を理解した計画となっている点が、評価できる。 ・ 義務教育学校の特徴を理解し、メディアラウンジを中心としたコンセプトについて、評価できる。 ・ 地域の多世代交流に着目している点が評価できる。 ・ SPC 業務に専念できる体制について、評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新たな学校像を目指すとともに、新しいコミュニティ形成の場に着眼していることなど、本事業の目的・基本理念を理解した計画となっている点が、評価できる。 ・ 義務教育学校の特徴を理解し、6つの実施方針を掲げている点が評価できる。
(2) 資金・収支計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ P F I 事業のアドバイザー経験が豊富な金融機関系シンクタンクをファイナンシャルアドバイザーとして起用することや資金需要に合わせた確実な資金調達計画とするなど、適切な資金・収支計画、資本金・内部留保金の十分な確保の提案があり、評価できる。 ・ 調達予定額を上回る金額（フルアンダーテイク）の融資確約書を金融機関から得ている点が評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ P F I 事業の会計監査経験が豊富な監査法人による会計監査や資金不足への対応が確保されているなど適切な資金・収支計画、資本金・内部留保金の十分な確保の提案があり、評価できる。 ・ 融資機関からのプロジェクトファイナンスや代表企業による建中ローンを固定金利とすることで、金利変動リスクを回避している点が評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資金不足発生時への対応として劣後ローンの枠を大きく設定するなど適切な資金・収支計画、資本金・内部留保金の十分な確保の提案があり、評価できる。 ・ 劣後ローンを全額代表企業が設定することにより、不測の事態が生じた際の迅速な対応が可能となる点が評価できる。
(3) リスク管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5層のセルフモニタリング体制をとるなどの適切なリスク管理体制、追加保険付保、バックアップサービスの確保の提案があり、評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 複層的リスク管理責任体制をとるなどの適切なリスク管理体制、追加保険付保、バックアップサービスの確保の提案があり、評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第三者委員会設置による適切なリスク管理体制、バックアップサービスの提案があり、評価できる。

I 事業計画全般に関する事項

審査事項	Tグループ	Yグループ	Lグループ
(4) 統括管理	<ul style="list-style-type: none"> 代表企業は豊富な PFI 代表企業実績を有し、複層的かつ具体的なセルフモニタリング体制の提案があり、評価できる。 要求達成確認シートを活用した進捗確認について、市と共有していく提案について評価できる。 設計事業者が、ZEB プランナーであることについて、評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 代表企業は豊富な PFI 代表企業実績を有し、複層的かつ具体的なセルフモニタリング体制の提案があり、評価できる。 市発注の P F I 事業のマネジメント経験を有する市内常勤の統括管理責任者が専任することについて、評価できる。 設計事業者が、ZEB プランナーであることについて、評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校施設整備に関する経験豊富で、地域に精通する地元の業務実施体制とし、複層的かつ具体的なセルフモニタリング体制の提案があり、評価できる。 地元の電力会社が ZEB プランナーとして関与することについて、評価できる

II 設計業務に関する事項

審査事項	Tグループ	Yグループ	Lグループ
(1) 意匠計画の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 施設整備コンセプトについては、今後のモデルとなる学校作りの提案として富山仕様を徹底している点が、評価できる。 全体配置計画については、前期課程用体育館棟を、地域拠点施設としての転用できる等の提案について、特に評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設整備コンセプトについては、歴史や地域開放など地域への配慮、9 学年交流に配慮した提案があり、評価できる。 記憶の架け橋ワークショップ、歴史の散策路など統合元校・地元へ配慮している点が評価できる。 全体配置計画については、普通教室を集約したゾーニング、用途変更を想定した普通教室の配置等の提案が、特に評価できる。 全体的な配置は良いが、3 ヶ所の通用門の管理やバス経路が駐車場内を通過することについて、学校側と運用方法を確認する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設整備コンセプトについては、学び・生活・安全・地域・環境に配慮した提案があり、評価できる。 新たな防災拠点、環境地域共生モデル校の提案について、評価できる。 全体配置計画については、新たな用途への変更を想定した計画、維持管理に配慮した計画の提案があり、評価できる。 全体的に整っているが、3 ヶ所の通用門の管理について、学校側と運用方法を確認する必要がある。

II 設計業務に関する事項

審査事項	Tグループ	Yグループ	Lグループ
<p>(1) 意匠計画の考え方 (続き)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ (屋外)配置計画については、前期と後期の体格差を考慮した体育館やグラウンド等の設置提案があり、評価できる。 ・ (屋内)配置計画については、4・3・2制のグルーピングが行われた上で普通教室が配置されており、3つの学年室との繋がり、日当りの良さ、カリキュラムに配慮した提案が評価できる。 ・ 動線計画・セキュリティ計画については、安全と地域開放、来訪者等に配慮した計画の提案について、高く評価できる。 ・ スクールバス運行を重視した屋外の動線計画となっており、カラー舗装などによる安全確保については、評価できるが、車両と児童生徒がクロスする校内横断歩道については、運用方法を学校側と確認が必要である。 ・ 1階校舎の廊下形状が、全体的にクランクが多く、児童生徒の安全安心な利用及び教職員における管理のしやすさを検討する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ (屋外)配置計画については、多様な屋外活動スペース、複数学年の同時利用を考慮した提案、また地域開放利用者の動線が独立している点が、評価できる。 ・ (屋内)配置計画については、4・3・2制のグルーピングが行われた上で普通教室が配置されており、また、異学年交流や地域開放を考慮したゾーニングの提案が評価できる。 ・ 動線計画・セキュリティ計画については、効率性やセキュリティ、管理面に配慮した動線計画の提案について、評価できる。 ・ 交流ベルトや階段の分散配置、地域開放道線が集約されていることで、全体的に良い動線計画となっている点が、評価できる。 ・ 通常時及び地域開放時の教職員動線並びに学校開放時の利用者動線を検証し、利用しやすい駐車場、職員更衣室の配置などを検討する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ (屋外)配置計画については、芝生広場やセキュリティゲートの提案があり、評価できる。 ・ 一列に各種玄関が並んだわかり易い提案について、評価できる。 ・ (屋内)配置計画については、文化部の地域移行に、将来にわたり段階的に対応可能となる提案について、評価できる。 ・ 将来の用途転用後の状況も考慮した管理諸室の配置計画の提案となっており、評価できる。 ・ ヒアリングで解消できたが、機能設定を詰め込み過ぎていることで、提案書の内容が伝わりにくいため、今後活かしてほしい。 ・ 動線計画・セキュリティ計画については、2つの軸線による効率的な動線計画、管理・運営に配慮した提案について、評価できる。 ・ まっすぐな廊下によるわかり易い動線計画について、評価できる。

II 設計業務に関する事項

審査事項	Tグループ	Yグループ	Lグループ
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仕上げ計画については、市内他校での仕様との共通化により維持管理を容易にする提案があり、評価できる。 ・ 全体として木の温もりが感じられ、メンテナンスへの配慮について評価できる。 ・ ユニバーサルデザイン・サイン計画については、全体的にユニバーサルデザインが浸透しており、通常時の利用に加え、地域開放・避難・グローバル化に配慮した提案があり、評価できる。 ・ 校舎については、通風・採光・日照等に配慮した独自の提案があり、評価できる。 ・ 読み聞かせコーナーや自習進路コーナーの提案について、評価できる。 ・ 体育関連諸室については、体育館の前期・後期別の設置、天井が高い半屋外運動スペースの設置、地域開放へ配慮した提案について、評価できる。 ・ 地域開放として利用する際に独立した管理・運営ができる提案について、高く評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仕上げ計画については、長寿命化、修繕費軽減の具体提案があり、評価できる。 ・ 全体として強度や断熱性に配慮されおり、木材使用にも工夫が感じられることについて評価できる。 ・ ユニバーサルデザイン・サイン計画については、トイレ・垂直移動設備など、通常時の利用に加え、地域開放・避難・開校後の改修への対応等に配慮した提案があり、評価できる。 ・ 校舎については、異学年連携や多様な学習形態に配慮した独自の提案があり、評価できる。 ・ 各教室ユニットが各階で集約されていることについて、評価できる。 ・ 効率的な計画となっている反面、提案の廊下形状においては、採光・通風の環境が懸念されるため、十分な検証が必要である。 ・ 体育関連諸室については、前期・後期課程それぞれの日常利用、地域利用・行事利用に配慮した提案について、評価できる。 ・ 全体として校舎東側に集約されまとまりがあり、災害時動線もきれいにまとめられている点が評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仕上げ計画については、県産材による木質化の提案があり、全体として木の温もりを感じられ、木と和紙の階段教室のアイディアについて、評価できる。 ・ ユニバーサルデザイン・サイン計画については、全体的にユニバーサルデザインが浸透しており、通常時の利用に加え、シャワー室や授乳室など、地域開放・避難時等に配慮した提案があり、評価できる。 ・ 校舎については、学習区間を連続的に繋ぐ等、独自の提案があり、評価できる。 ・ 各機能がうまく集約されているが、普通教室における4・3・2制のグルーピングについては、階をまたいだ配置となっており、学校側と運用方法を確認する必要がある。 ・ 体育関連諸室については、日常利用・地域開放それぞれに配慮した提案があり、評価できる。 ・ アリーナ1階部分に2箇所のピロティがあり多雨の気候条件の中でも、日常利用時、避難所利用時共に、有効活用できる点が評価できる。

II 設計業務に関する事項

審査事項	Tグループ	Yグループ	Lグループ
	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所解消までのプロセスゾーニングが具体的に評価できる。 ・外構については、グラウンド表土飛散防止対策、井戸水を利用した融雪設備、前期・後期課程の体格差等を考慮した提案について、評価できる。 ・グラウンド周辺のランニングコースや複数のトラックにおける提案について、評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外構については、グラウンド表土飛散防止対策、除雪・融雪設備等の提案について、評価できる。 ・外周ランニング走路、カラー舗装や人工芝の配慮について、評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外構については、グラウンド表土飛散防止対策、井戸水を利用した融雪設備等の提案があり、評価できる。 ・インクルーシブ教育を意図した芝生広場や石垣などの発想について、評価できる。
(2) 周辺環境・地球環境への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・北陸の気候に即した断熱・凍結・落雪への配慮など、風土を意識したデザイン、気候対策に関する提案があり、特に評価できる。 ・雨水の雑排水利用や井水利用は、省エネの観点のみならず災害時にも対応できる点について、評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・水橋高等学校の資源を活用する提案、南北方向の強風への配慮に関する提案があり、特に評価できる。 ・地域性への配慮や自然風による換気への工夫について、評価できる。 ・井水活用環境教室の提案について、評価できる。 ・要求水準以上の ZEB ready を目標とする提案があり、特に評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史や風土を意識した校舎づくり、周辺環境との調和にも十分配慮されている提案であり、評価できる。 ・自然風に配慮した工夫、再生可能エネルギー活用システムについて、評価できる。
(3) 構造計画の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・経済性・施工性に配慮し、数値上の余力だけに頼らない様々な耐震安全性等の提案があり、評価できる。 ・用途変更の自由度が高くなる耐震壁の配置や床荷重の割り増しについて、評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設の特性や多雪地域に配慮した構造体の耐震性確保の提案があり、評価できる。 ・用途変更の自由度が高くなる耐震壁の配置や床荷重の割り増しについて、評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に耐震・耐雪・耐風を意識し、合理性、工期縮減、フレキシビリティに配慮した提案があり、評価できる。 ・用途変更の自由度が高くなるよう純ラーメン構造としていることや床荷重の割り増しについて、評価できる。
(4) 設備計画の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の転用を見越した計画の提案があり、評価できる。 ・故障時に学校運営への影響が最小となるよう、複層的に機能を補 	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の更新を見込んだ計画の提案があり、評価できる。 ・設備機器がゾーンごとに細分化され、空調や換気は諸室毎に調整が 	<ul style="list-style-type: none"> ・汎用品・規格品の利用による修繕・更新対応等の具体提案があり、評価できる。 ・更新・メンテナンスに配慮されており、エアコ

II 設計業務に関する事項

審査事項	Tグループ	Yグループ	Lグループ
	完する提案について、評価できる。	可能となる提案について、評価できる。 ・スクールバスの運行を想定した設備の提案について、評価できる。	ン室外機の防雪フードなど、富山の気候に配慮した提案について、評価できる。
(5) 防災安全計画の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童・生徒の分散避難、災害避難場所としての運営に関する提案があり、評価できる。 ・ 災害後に避難所として運営していても、支障なく学校再開ができる提案について、特に評価できる。 ・ 井水や雨水をトイレへ利用するなど、災害時を想定した計画として、よくまとめられている点が評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 避難ルートを想定した階段配置や保安警備の具体的な提案があり、評価できる。 ・ マンホールトイレの設置や防災備蓄倉庫など、災害時を想定した計画として、よくまとめられている点が評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 複数の避難ルート確保の提案があり、評価できる。 ・ マンホールトイレの設置やアリーナと柔剣道場を避難者ごとの避難所として分別利用できるなど、災害時を想定した計画として、よくまとめられている点が評価できる。 ・ 理科室における緊急シャワーや緊急排気用有圧扇など、実験時における安全性への配慮について、評価できる。

III 建設・工事監理・解体撤去・杭撤去業務に関する事項

審査事項	Tグループ	Yグループ	Lグループ
(1) 建設業務全般に係る事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 解体工事と建設工事を敷地北側で同時に施工するため、スケジュール上の懸念はあるものの、複雑な工程を具体的かつ確かな提案にまとめていること、工期に大きく影響する杭抜き作業における工期短縮が図られていることについて、評価できる。 ・ 建設DX活用による効率化と品質向上について、評価できる。 ・ 工事期間中の周辺的安全確保や周辺農地への影響に配慮した工事工程の提案について、評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 解体工事、杭撤去工事について、住民説明、リサイクル、遅延時の対策などの具体的かつ確かなスケジュール計画の提案があり、評価できる。 ・ デジタル技術活用による品質向上について、評価できる。 ・ 工事期間中の周辺的安全確保や、周辺農地への影響に配慮した工事工程の提案があり、評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 具体的かつ確かなスケジュール計画の提案があり、評価できる。 ・ 工事期間中の周辺的安全確保や、周辺農地への影響に配慮した工事工程の提案があり、評価できる。
(2) 工事監理業務全般に	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業務を着実に実施するための手順、確実な品 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業務を着実に実施するための手順、確実な品 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業務を着実に実施するための手順、確実な品

Ⅲ 建設・工事監理・解体撤去・杭撤去業務に関する事項

審査事項	Tグループ	Yグループ	Lグループ
係る事項	<p>質管理に係るセルフモニタリング等の実施体制の提案があり、評価できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数体制による工事と品質のダブルチェック体制について、評価できる。 	<p>質管理に係るシステムチックな実施体制の提案があり、評価できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・窓口を監理業務責任者に一元化し、設計チームのバックアップ体制について、評価できる。 	<p>質管理に係る実施体制の提案があり、評価できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複層的工事監理と窓口一元化による意思決定の迅速化について、評価できる。

Ⅳ 什器備品調達・引越業務に関する事項

審査事項	Tグループ	Yグループ	Lグループ
(1) 新規什器・備品等調達・設置業務に係る事項	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の体格差に合わせた提案やコミュニケーション活性化に配慮した提案について、評価できる。 ・教育DXの観点において、提案の余地が感じられた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の体格差に合わせた提案や教科の特性にあわせた什器備品の提案や環境性能、コミュニケーション活性化に配慮した提案について、評価できる。 ・教育DXの観点において、提案の余地が感じられた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科の特性にあわせた什器備品や木を感じさせる提案について評価できる。 ・教育DXの観点において、提案の余地が感じられた。
(2) 既存什器・備品等の統合元学校からの引越業務に係る事項	<ul style="list-style-type: none"> ・引越業務の手順に関する具体的な提案があり、評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引越業務の手順に関する具体的な提案があり、既存備品の配置計画を建設工事に反映していく提案について、評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校における通常業務への支障を軽減する具体的な提案について、高く評価できる。

Ⅴ 維持管理業務に関する事項

審査事項	Tグループ	Yグループ	Lグループ
(1) 維持管理業務全般に係る事項	<ul style="list-style-type: none"> ・予防保全に向けたサポート体制や維持管理協議会（月1回）の設置など複層的なモニタリングに関する提案があり、評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・予防保全に向けたサポート体制、教職員・用務員との連携や維持管理協議会（月1回）など複層的なモニタリングに関する提案があり、評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・予防保全に向けたサポート体制や4半期に1回の維持管理協議会の設置など、複層的なモニタリングに関する提案があり、評価できる。
(2) 建築物、建築設備の保守管理業務に係る事項	<ul style="list-style-type: none"> ・故障・クレーム、要望等の対応について提案があり、評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・故障・クレーム、要望等の対応について、保守点検結果の数値化・定量化等の具体提案があり、評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・故障・クレーム、要望等の対応について提案があり、評価できる。

V 維持管理業務に関する事項

審査事項	Tグループ	Yグループ	Lグループ
(3) 外構等維持管理業務に係る事項	<ul style="list-style-type: none"> 屋外運動器具・遊具や屋外運動場の土の管理、周辺農地への影響配慮について具体的な提案があり、評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 屋外運動器具・遊具の管理、周辺農地への影響配慮について具体的な提案があり、評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 独自の外構維持管理指標による恒常的な保守管理の提案があり、評価できる。
(4) 環境衛生・清掃業務に係る事項	<ul style="list-style-type: none"> 環境配慮や環境衛生・清掃の着実な遂行に関する提案があり、評価できる。 お掃除ワークショップなどの校舎を大切に使うための協働イベントについて評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 環境配慮や環境衛生・清掃の着実な遂行とSDGs・教育との接続に関する提案があり、評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 環境配慮や環境衛生・清掃の着実な遂行に関する提案があり、評価できる。 お掃除教室などの低学年を対象とした協働イベントについて評価できる。
(5) 警備保安業務に係る事項	<ul style="list-style-type: none"> 緊急時の迅速な対応を可能とする警備体制、災害復旧の際の人的支援体制などの復旧計画作成等の提案があり、評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 緊急時の迅速な対応を可能とする警備体制、教職員との連携方法、訓練等の提案があり、評価できる。 事故対応マニュアル作成支援やあんしん教室の開催、AEDトレーニングの提案について、評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 緊急時の迅速な対応を可能とする警備体制の提案があり、評価できる。 教育訓練のマニュアル作成、訓練支援体制の提案について、評価できる。
(6) 修繕業務に係る事項	<ul style="list-style-type: none"> 迅速な日常修繕対応に関する提案があり、評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 修繕対応の連絡体制、事業終了後の引継ぎ対応についての具体的な提案があり、評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 修繕対応プロセスに関する提案があり、評価できる。 短期・中期・長期の予防保全計画の具体的作成と余裕のある長期修繕費の見込みとなっており、評価できる。

VI 事業全体に関する事項（事業者独自の提案）

審査事項	Tグループ	Yグループ	Lグループ
(1) 事業者独自のノウハウやアイデア	<ul style="list-style-type: none"> 児童・生徒の教育に資する独自性や多様性に富んだ提案があり、評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童・生徒の教育に資する独自性や多様性に富んだ提案があり、評価できる。 大学と連携した使われ方の調査を行うなど、竣工後のフォローアップについて、評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童・生徒の教育に資する独自性や多様性に富んだ提案があり、評価できる。 純ラーメン構造による可変性の高い構造、職員室の災害時甲類性能について、評価できる。

VI 事業全体に関する事項（事業者独自の提案）

審査事項	Tグループ	Yグループ	Lグループ
(2) 地域社会・経済への貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本事業への地元企業の参画、設計・建設時の児童・生徒・地域の参画等の提案があり、評価できる。 ・ 水橋ホールの歴史年表ワークショップやおそужワークショップ、災害時の協力支援について、評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本事業への地元企業の参画、設計・建設時の児童・生徒・地域の参画、災害時対応に関する提案があり、特に評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本事業への地元企業の参画、設計・建設時の児童・生徒・地域の参画等の提案があり、評価できる。